

## 佐渡地域医療連携ネットワークシステム（仮称）開発等業務 プロポーザル競技の審査結果

平成 24 年 1 月に実施した佐渡地域医療連携ネットワークシステム（仮称）開発等業務プロポーザル競技の審査を終了しましたので、その審査結果をお知らせします。

佐渡地域医療連携推進協議会

### 佐渡地域医療連携ネットワークシステム（仮称）開発等業務プロポーザル競技審査結果報告書

#### 1 経緯

新潟県では平成 21 年に国の経済危機対策の一環として新たに設けられた「地域医療再生基金事業」を活用して医療機能の強化や地域の医療課題と解決するため、「地域医療再生計画」を策定、国に提出し、翌年国から内示を受けました。

それを受け、佐渡医療圏では当団体の前身である「佐渡医療圏地域医療再生計画推進協議会」を設立、地域医療連携ネットワークシステムの構築に向けた協議・検討を重ね、地域医療連携ネットワーク機能図等の作成・当該システムの具現化に向けた要件定義作業を実施し、その結果を基に平成 24 年度、当該システムの設計・開発業務等をシステム開発事業者に委託することとしました。

そこで、当団体では、当該システム開発等の業務をシステム開発事業者に委託するに当たり、プロポーザル競技を実施することとし、平成 24 年 1 月に「佐渡地域医療連携ネットワークシステム（仮称）開発等業務プロポーザル競技審査委員会」（以下「審査委員会」という。）を設置しました。

なお、審査委員会の日程と審査項目等は以下のとおりです。

- ・第 1 回審査委員会（平成 24 年 1 月 23 日（月））  
審査スケジュール、審査基準、ヒアリング実施方法等を決定
- ・第 2 回審査委員会（平成 24 年 2 月 20 日（月））  
ヒアリングの実施の是非及びヒアリング実施対象提案者等を決定
- ・第 3 回審査委員会（平成 24 年 3 月 3 日（土））  
個別ヒアリングを実施
- ・第 4 回審査委員会（平成 24 年 3 月 3 日（土））  
各委員の審査結果を基に、最優秀提案者及び次点者を選定

#### 2 審査結果

- ・最優秀提案者  
日本ユニシス株式会社
  
- ・次点者  
富士通株式会社 新潟支店

### 3 講 評

最優秀提案者である日本ユニシス株式会社の提案内容は、ネットワークシステムを通じて医療連携を図るための要件として求める機能を網羅的に実現できるものとなっていました。

また、当該ネットワークシステムを利用する者の IT システム操作性等の熟練度を考慮し、どのようなユーザーでも容易に利用することができる、閲覧性・操作性に優れたネットワークシステムを提案していました。

更に、可能な限り運用・保守費の抑制を図ったネットワークシステム及び費用を提案しており、当該ネットワークシステムを恒常的に運用していくことが出来るよう、開発等だけでなくその後の存続性にも考慮した提案内容は十分評価できるものでした。

次点者である富士通株式会社 新潟支店は、ネットワークシステムを通じた医療連携を図るための要件として求める機能の網羅性については十分であったものの、マイルストンの設定状況やユーザビリティの具体性等の点から、次点としました。

今回参加いただいた提案者におかれましては、短期間にもかかわらず、本プロポーザル競技の募集趣旨を理解され、真摯な提案をいただいたことに対し、敬意を表します。

佐渡地域医療連携ネットワークシステム（仮称）開発等業務プロポーザル競技審査委員会

委員長 新潟県厚生農業協同組合連合会

	佐渡総合病院	外科部長	佐藤 賢治
副委員長	佐渡市立両津病院	院長	石塚 修
委員	本田クリニック	院長	本田 康征
委員	こだま歯科医院	院長	児玉 信彦
委員	さど調剤・さくら薬局 畑野	管理薬剤師	中川 正彦
委員	新潟県総務管理部情報政策課	情報主幹	富塚 義浩

#### ○問い合わせ先

佐渡地域医療連携推進協議会事務局

〒952-1209 新潟県佐渡市千種 161 番地

佐渡総合病院内 (社)佐渡医師会内

電話：0259-63-6360

FAX：0259-67-7808